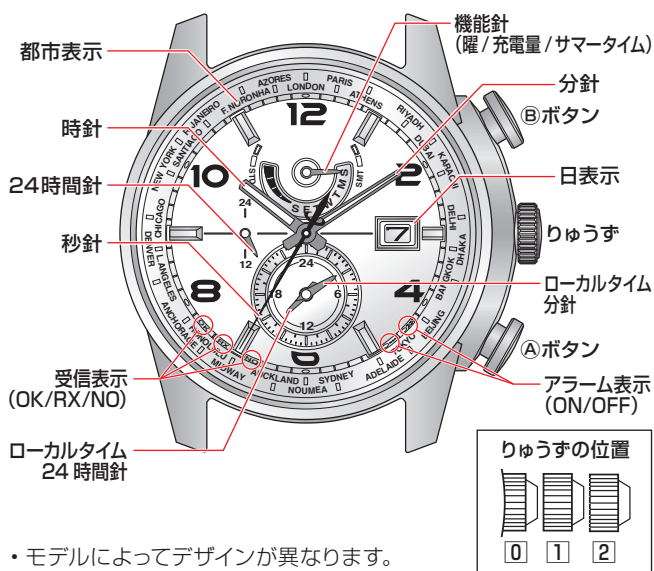


H820 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、Webマニュアルをご参照ください。 <https://citizen.jp/support/guide/html/h820/h820.html>

各部の名称



・モデルによってデザインが異なります。

充電量を確認する

1. りゅうずの位置を①にする
2. ④ボタンを押す

機能針が充電量を示します。

表示				
継続時間	約 180 日～ 130 日	約 130 日～ 30 日	約 30 日～ 2 日	約 2 日
充電残量	十分に充電 されている	安心して 使える	そろそろ なくなる	ほとんどない
			すぐに充電が必要です。	

3. ④ボタンを押して、確認を終了する
 - ・約 10 秒間経過すると、自動で時刻表示に戻ります。

電波受信の結果を確認する

この時計は、標準電波を夜間に自動で受信します。

1. りゅうずの位置を①にする
2. ④ボタンを押す

秒針が前回の電波の受信結果を指します。

表示	受信結果
OK	受信に成功しました
NO	受信に失敗しました

- ・受信に失敗している場合は、「手で電波を受信する (強制受信)」の手順に従い、電波受信をしてください。
3. ④ボタンを押して、確認を終了する
 - ・何の操作もしないまま約 10 秒たつと自動的に通常時刻表示に戻ります。

ワールドタイムを設定する

- この時計では、2つの時刻(ホームタイムとローカルタイム)を同時に表示させることができます。
- ローカルタイムは 24 時間針で表示しています。確認の際には注意してください。

ホームタイム / ローカルタイムの設定を確認する

1. りゅうずの位置を①にする
2. ③ボタンを押す
秒針が現在のホームタイム都市、機能針がサマータイムの情報を表示します。(サマータイムの情報は「サマータイムを設定する」を参照してください)
3. ③ボタンを押す
秒針が現在のローカルタイム都市、機能針がサマータイムの情報を表示します。
③ボタンを押すごとに、秒針は次のように切り替わります。
①ホームタイム都市→②ローカルタイム都市→③通常秒針→(始めに戻る)
4. ③ボタンを押して、確認を終了する

ホームタイム / ローカルタイムを設定する

1. りゅうずの位置を①にする
秒針が現在のホームタイム都市設定、機能針がサマータイムの情報を表示します。
2. りゅうずを回して、都市を選ぶ
ホームタイムの都市を選びます。
3. ④ボタンを押す
秒針が現在のローカルタイム都市設定、機能針がサマータイムの情報を表示します。
・④ボタンを押すごとに、ホームタイム都市⇄ローカルタイム都市が切り替わります。
4. りゅうずを回し、都市を選ぶ
ローカルタイムの都市を選びます。
5. りゅうずの位置を①にして、設定を終了する

都市名一覧

略称	都市名または秒針の指す位置	時差	電波局
LON	*ロンドン	0秒 0	ドイツ
PAR	*パリ	2秒 +1	
ATH	*アテネ	4秒 +2	ドイツ◆
RUH	リヤド	7秒 +3	
DXB	ドバイ	9秒 +4	
KHI	カラチ	11秒 +5	
DEL	デリー	14秒 +5.5	中国◆
DAC	ダッカ	16秒 +6	
BKK	バンコク	18秒 +7	
BJS/HKG	北京 / 香港	21秒 +8	中国
TYO	東京	23秒 +9	日本
ADL	アデレード	25秒 +9.5	日本◆
SYD	シドニー	28秒 +10	
NOU	ヌーメア	30秒 +11	
AKL	オークランド	32秒 +12	
MDY	ミッドウエイ諸島	35秒 -11	
HNL	ホノルル	37秒 -10	アメリカ◆
ANC	**アンカレジ	39秒 -9	アメリカ
LAX	**ロサンゼルス	42秒 -8	
DEN	**デンバー	44秒 -7	
CHI	**シカゴ	46秒 -6	
NYC	**ニューヨーク	49秒 -5	
SCL	サンティアゴ	51秒 -4	アメリカ◆
RIO	リオデジャネイロ	53秒 -3	
FEN	フェルナンド・デ・ノローニヤ諸島	56秒 -2	ドイツ◆
PDL	*アゾレス諸島	58秒 -1	

- ・*/**の都市では、サマータイム/標準時刻の表示が連動しています。
- ・一覧表の時差は UTC (協定世界時) からの時差です。
- ・一覧表にない都市で時計を使用する場合は、同じ時差の都市を設定してください。
- ・時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。
- ・◆の都市は受信範囲外であり、受信することはできません。(受信時には各局の電波を受信しようと動作します)
- ・電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。

ホームタイム / ローカルタイムを入れ替える

1. りゅうずの位置を0にする

2. ㊶ボタンと㊷ボタンを同時に押す

確認音が鳴り、ホームタイムとローカルタイムの表示が入れ替わります。

手動で電波を受信する (強制受信)

- ・設定した都市によって受信局は異なります。

1. りゅうずの位置を0にする

2. ㊶ボタンを2秒間以上押す

前回の電波受信の結果が表示されます。その後、秒針が「RX」を指し、強制受信が始まります。(2分～15分)

- ・受信を中断したいときは、㊶ボタンを2秒間以上押します。

サマータイムを設定する

- ・この時計は、サマータイム信号を受信すると、自動でサマータイムの「SMT/STD」を切り替えます。
- ・サマータイムを行っている地域では、標準電波にサマータイム信号が含まれます。

サマータイム設定を確認する

1. りゅうずの位置を0にする


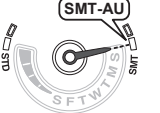
2. ㊷ボタンを押す



秒針が現在のホームタイム都市設定、機能針がサマータイムの情報を表示します。

3. ㊸ボタンを押す

秒針が現在のローカルタイム都市設定、機能針がサマータイムの情報を表示します。

- ・サマータイムの設定は、4つのモードがあります。

STD-AU	SMT-AU
標準時刻 (STD)	サマータイム (SMT)
自動 (AU)	
受信したサマータイム情報に基づいて、 標準時刻 を表示する。 サマータイム・オン情報を受信すると、自動でサマータイム (SMT-AU) へ切り替わる。	受信したサマータイム情報に基づいて、 サマータイム を表示する。 サマータイム・オフ情報を受信すると、自動で標準時刻 (STD-AU) へ切り替わる。
標準時刻に設定 (STD) 	サマータイムに設定 (SMT) 
自動切り替え	

STD-MA	SMT-MA
標準時刻 (STD)	サマータイム (SMT)
手動 (MA)	
受信したサマータイム情報に関係なく、常に 標準時刻 を表示する。	受信したサマータイム情報に関係なく、常に サマータイム を表示する。
標準時刻に設定 (STD) 	サマータイムに設定 (SMT) 

4. ㊸ボタンを押して、確認を終了する

サマータイムの「SMT/STD」を切り替える

1. りゅうずの位置を1にする

秒針が現在のホームタイム都市設定、機能針がサマータイムの情報を表示します。

2. ㊸ボタンを押す

- ・㊸ボタンを押すごとに、機能針が「STD-AU」⇔「SMT-AU」または「STD-MA」⇔「SMT-MA」を指し、ホームタイムのサマータイムの「SMT/STD」が切り替わります。

3. ㊶ボタンを押す

秒針が現在のローカルタイム都市設定、機能針がサマータイムの情報を表示します。

4. ㊷ボタンを押す

- ・㊷ボタンを押すごとに、機能針が「STD-AU」⇔「SMT-AU」または「STD-MA」⇔「SMT-MA」を指し、ローカルタイムのサマータイムの「SMT/STD」が切り替わります。

5. りゅうずの位置を0にして、設定を終了する

サマータイムの自動 / 手動を切り替える

1. りゅうずの位置を1にする

秒針が現在のホームタイム都市設定、機能針がサマータイムの情報を表示します。

2. ㊶ボタンを2秒間以上押す

- ・㊶ボタンを2秒以上押すごとに、機能針が「STD-AU」⇔「STD-MA」または「SMT-AU」⇔「SMT-MA」を指し、ホームタイムのサマータイムの自動 / 手動が切り替わります。

3. ㊶ボタンを押す

秒針が現在のローカルタイム都市設定、機能針がサマータイムの情報を表示します。

4. ㊶ボタンを2秒間以上押す

- ・㊶ボタンを2秒間以上押すごとに、機能針が「STD-AU」⇔「STD-MA」または「SMT-AU」⇔「SMT-MA」を指し、ローカルタイムのサマータイムの自動 / 手動が切り替わります。

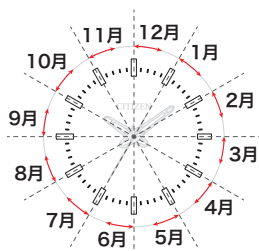
5. りゅうずの位置を0にして、設定を終了する

次へ続く

時刻とカレンダーを手動で合わせる

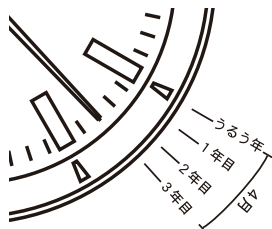
・この時計のカレンダーは、うるう年を含む 2100 年 2 月 28 日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

1. りゅうずの位置を①にする
2. ③ボタンを 2 秒間以上押す
秒針が 30 秒位置を指します。
3. りゅうずの位置を②にする
秒針が 0 秒を指して、時刻 / カレンダー合わせができるようになります。
4. ③ボタンをくり返し押して、修正する対象を選ぶ
・③ボタンを押すごとに、次のように切り替わり、修正対象の針 / 表示が少し動きます。
分針 / 時針 / 24 時間針 → 日表示 → 曜 → 年 / 月 → (始めに戻る)
5. りゅうずを回して、時刻、日表示、曜、年、月を合わせる
・りゅうずを素早く回転させると、各針 / 表示が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
・年と月は、秒針で表示されます。
月は、時刻の「時」の範囲で示されます。



年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。
うるう年からの経過年数については、サポートページに詳しい解説があります。

(例) 2015 年 4 月に合わせるときは
4 月 → 4 時の範囲
2015 年 → うるう年から 3 年目



6. 手順 4 と 5 をくり返す
7. 時報に合わせて、りゅうずの位置を③にする
秒針が動きはじめます。

アラームを使う

・アラームは 24 時間制で、一度セットすると 1 日 1 回、セット時刻に鳴ります。
・アラームはホームタイムの時刻に連動します。ローカルタイムの時刻に合わせてセットすることはできません。

アラームを設定する

アラーム時刻の設定は、ローカルタイム表示部の 24 時間針および分針で行います。

1. りゅうずの位置を②にする
ローカルタイム表示部が、現在のアラーム設定時刻を表示します。
2. りゅうずを回して、アラーム時刻を設定する
・りゅうずを素早く回転させると、針が連続して動きます。
りゅうずを少し回すと止まります。
3. りゅうずの位置を③にして、終了する

アラームの ON/OFF を切り替える

1. りゅうずの位置を②にする
秒針が、アラームの ON/OFF 設定、機能針が充電量を示します。
2. ④ボタンを押す
・④ボタンを押すごとに、アラームの ON/OFF が切り替わります。
3. りゅうずの位置を③にして、終了する

アラーム音をとめる

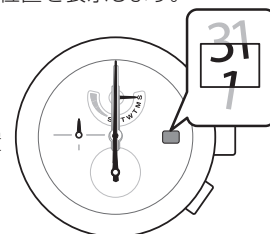
④ボタンまたは③ボタンを押します
・アラーム音は、15 秒間鳴ります。

アラーム音を確認する

1. りゅうずの位置を②にする
2. ④ボタンを 2 秒以上押す
④ボタンを押している間アラーム音が鳴ります。

基準位置を確認する

1. りゅうずの位置を③にする
2. ③ボタンを 10 秒間押し続ける
各針と日表示が動き、現在の基準位置を表示します。
正しい基準位置：
機能針が日曜日、
すべての針が 12 時の位置、
日表示が「31」と「1」の間
現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。



3. ③ボタンを押して、確認を終了する

基準位置を修正する

1. りゅうずの位置を③にする
2. ③ボタンを 10 秒間以上押し続ける
各針と日表示が動き、現在の基準位置を表示します。
3. りゅうずの位置を②にする
基準位置の修正ができるようになります。
4. ③ボタンを押す
③ボタンを押すごとに、修正対象が次のように切り替わり、針 / 表示が少し動きます。
ローカルタイム / 分針・24 時間針 → 機能針 / 日表示 → 分針 / 時針 / 24 時間針 → 秒針 → (始めに戻る)
5. りゅうずを回して、すべての針 / 表示を正しい基準位置に修正する
りゅうずを素早く回転させると、各針が連続して回転します。
りゅうずを少し回すと止まります。

6. りゅうずの位置を③にする
7. ③ボタンを押して、終了する

オールリセットを行う

1. りゅうずの位置を②にする
2. ④ボタンと③ボタンを同時に 4 秒間以上押す
オールリセットが行われます。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置を合わせ直してください。
その後、都市の設定を行い、手動で電波を受信して(強制受信)、時刻とカレンダーを合わせ直してください。